

一般質問

6月定例会



6月16日～18日の3日間にわたり、15名の議員から市政に関する一般質問が行われました。(掲載は次ページから。掲載順は質問順です)
掲載の内容は、一般質問および答弁内容の一部を抜粋した各議員の原稿を基に、編集委員会で確認・編集したものです。
なお議長につきましては、申し合わせにより任期中は一般質問は行わないこととしております。

◆飯山市議会本会議
動画配信しています◆
■YouTube
「飯山市議会」チャンネル
こちらの二次
元コードから

令和8年9月定例会
会期日程(予定)

◆招集・議案上程
9月1日(火)

◆一般質問
9月9日(水)

◆各常任委員会審査
9月14日(木)

◆委員長報告・採決
9月29日(火)

本会議を傍聴する皆さまへお願い

本会議を傍聴する場合は、傍聴規則をお守りいただき、拍手その他の方法により公然と可否を表明したり、議事の妨げとなるようなことのないようご協力ください。
なお本会議の様子は「ネット飯山」でも放送をしております。

■議会運営委員会 管外行政視察を実施

7月23日・24日に石川県七尾市および羽咋市の市議会を行政視察しました。
能登半島地震で実際の災害を経験した両市から、災害時における議会・議員の役割と責務、行政との連携、避難所の運営方法、そして復旧・復興に向けた新たな取り組みについて、詳しくお話を伺いました。



羽咋市議会議場にて

■北信3市 議会議員研修会を開催

7月13日、飯山市内において北信3市議会議員研修会を開催し、飯山市・中野市・須坂市から市議会議員55名が参加しました。
研修では株式会社廣瀬行政研究所代表取締役 廣瀬和彦氏を講師に迎え、「効果的な一般質問のあり方」と題し講演いただきました。
講演後は質疑応答を通じて3市の議員が意見交換し、実践的な知識を共有しました。



市営住宅ペット
飼育・ペット同行
避難・財政運営



高澤富士子議員

旧城南中学校校跡
地について問う



山崎武雄議員

職員条例・くじ
引き民主主義・
市民スキー振興



松本淳一議員

物価高騰さみ
袋・登校支援・
ジェンダー平等



荻原章一議員

小中学校の通学
方法・森林農地
整備・郷土食



村松正勝議員

一般質問

問 移住者や若者世代の住居選定の条件としてペット飼育の可否の問い合わせがあると聞く。市営住宅の空き住戸対策として検討はできないか。
答 住居形態、他自治体の先進事例の調査、課題整理を進め、どのような運用が可能か研究したい。
問 ペットの同行避難は飼いの意識づけが重要。どのような周知を行っているか。
答 市のホームページや出前講座、防災学習会で周知。今後は狂犬病予防接種会場等での直接周知を検討したい。
問 市の事業予算に、ふるさと納税を積み立てている基金からかなりの額を充てている。今後も同様な事業を継続していけば基金が底を突くのではないかと危惧するが対策は。
答 ふるさと納税の減額で基金残高が減少しているのは事実。基金は貯めることが目的ではない。
問 旧城南中学校校利活用事業では事業者への支援に、全額一般財源からの支出が予定されているがなぜか。
答 活用できる補助金がない。

問 観光ホテルを建てるには都市計画の変更が必要で、住民の理解と同意が必要である。この説明を市民に行ったか。
答 これまで8回開催した地元説明会では、事業者の事業計画を説明させていただいた。この計画内容により、今後必要となる用途地域の変更について、説明会を実施していきたいと考えている。
問 ホテルは宿泊客による騒音や花火など夜間活動が日常化する恐れがある。この説明を市民に行ったか。
答 地元説明会で同様の質問があり、事業者から「近隣住民の皆さまに迷惑をかけないようにしていきます」と回答した。
問 分譲マンションであれば、私の試算でおよそ900人の定住人口を生むことができ、市内の消費も増え、労働人口も増え、固定資産も増える。市の将来にとってどちらが有益か、市長の判断を伺う。
答 提案を受け止め、今後のまちづくりの中で参考とさせていただきます。

問 一般職の任期付職員の採用等に関する条例は3月議会です市長への不信感が理由とされ、継続審議となっている。委員会の場で市長説明があったが不信は解消されたか。
答 委員会では指摘のあった6点について説明した。議員各位の考えがあり、不信感解消については一概には言えない。本条例案を可決いただけるよう、丁寧に説明をした。
問 「くじ引き民主主義」の予算は3月議会で否決された。今後の取り組みを聞きたい。
答 無作為抽出で選出された市民から意見をいただくため、多様な意見を把握できると考える。年度内に再提出できるよう制度設計を精査していく。
問 市民リフト引換券の利用状況は。
答 過去5か年の引換率は配布数の約2割。
問 今後の市民スキーの振興策を聞きたい。
答 就学前の雪遊びの一環・健康増進につながる冬のアクティビティとして、スキー文化の継承の視点も含めスキー振興の取り組みを進めていく。

問 物価高騰など中東情勢による市民生活への影響をどう把握されているか。
答 ガソリン・灯油や食料品の価格上昇。ナフサ由来のプラ製品、医療品、建築資材などの供給不足の影響がある。
問 もえるごみ指定袋が3割値上げされた。市民全体に関わるものについての周知の仕方は適切であったか。
答 不行き届きだったことは市民にお詫びし、今後に生かしたい。
問 令和7年度市内小中学生の不登校の実態はどうか。
答 年間30日以上欠席者は小学校で25名、中学校で26名。
問 6月補正予算に計上された不登校支援の身は何か。
答 信州型フリースクール利用者への経済的負担軽減の補助金及び居場所支援事業所への委託料。ともに1人当たり月額1万5千円を上限で措置する。
問 ジェンダー平等の観点から、市の一番の課題は何か。
答 地域の意思決定の場などあらゆる分野における女性参加の拡大と、固定的な性別役割分担意識の解消である。

問 小中学校の通学方法に相乗りタクシーやライドシェアを取り入れたらどうか。
答 児童生徒が安全に通学できる環境を整えることが大前提となる。先進地の取り組み等の情報収集から始めたい。
問 次世代へつなぐために水田の農業基盤整備をどのように考えているのか。
答 柳原・常盤地区では再圃場整備の実現に向けた研究が進められている。国県の支援を受けながら実現に向けて話し合いを進めていく。
問 千曲川河川敷の荒廃農地再生は鳥獣対策にもなる。今後の河川敷農地拡大等についての考え方は。
答 今年度は市の遊休荒地再生補助金の上限額を倍増し取り組みやすくした。鳥獣対策では3カ所の河川敷草木伐採を国が予定している。
問 郷土食・伝統食存続について事業者の現状を把握できているか。
答 個々の事業者の状況は不明だが、食文化の維持・継承のため、どのように連携できるか検討の必要があると考えている。

一般質問

議会への考え方・給食米・雪冷房について聞く

問 市長と議会とは二元代表制の下で対等と理解しているか。提案した議案は全て可決するのが当然と考えているのか。

答 対等であると考えている。提出した議案全てが可決されるのは当然という考えはない。

問 委員会の議論の内容は正式な議事録を閲覧すべき。市長からの録音を聞かせるという要求はバワハラである。

答 ハラスメントには並みならない。今年特別栽培米の給食を提供するが、1キロ千円で購入予定は、値下がり予想される8年産米と大きな格差がある。

問 農業支援のひとつの方法と考え、予算案を提出した。

問 農業の支援なら他の方策がある。行政が相場の倍以上での購入は控えるべきだ。

答 事業の趣旨に鑑み、予定した1キロ千円で購入する。

問 雪冷房試験が今年も実施される。過去何十年も試験してきて、今更屋外に貯蔵した雪での試験は無駄遣いではないか。

答 夏が終わるまで雪を保存することに成功している方法で行う。厄介者の雪が資源となる取り組みと認識している。

飯山線・只見線直通貸切列車の運行について

問 長年の念願であった飯山線・只見線直通列車運行のツアーがようやく6月に1泊2日で実現した。沿線の皆さんからも大歓迎されたが、実現の経緯、課題、今後を伺う。

答 実行委員会の熱心な働きかけ、JR飯山駅長の尽力等により飯山線の歴史上初めて実現した。両線とも国内屈指の豪雪地帯を走るローカル線。単体での存続には大きな課題があるが、潜在観光需要の掘り起こしや、日本のど真ん中のサイクルトレインネットワーク等の構想が考えられる。

問 新潟、長野、岐阜、東京、台湾からの乗客もおられたようだが、今後の課題として飯山に来る着地型の方角性について伺う。

答 善光寺のご開帳、諏訪の御柱祭、国スポ等で飯山に来ているだけでなくインセンティブはあるが広域観光を目指したい。例えば地獄谷の猿は多くの観光客を集めるが、どの宿泊地を選ぶかは猿に責任がないのと同じように「善光寺の後は飯山へ」と導く魅力のある飯山になる必要があると考える。

ホテル問題・市政運営について

問 駅前ホテル問題は民事調停から訴訟に至り、解決の見えない状況である。市長の任期である10月までに、解決に向けた進展が期待できるのか、市長は市民に説明する責任がある。どのような状況なのかお聞きする。

答 9月25日行われる尋問には私が出廷し対応する。その後はまだ時間がかかると思われ、任期中に何らかの結論が出る見込みはない。

◆市政運営について

問 市長は、過日開催された総務文教常任委員会の「飯山市一般職の任期付職員採用等に関する条例」の審査において、「自分の後援会長を、優秀なノウハウを持っているからと公募の手続もせずに独断で会計年度任用職員に採用したこと」について、「何ら問題はなかった」と発言された。その思いは今も変わらないかお聞きする。

答 変わりない。

政治姿勢と平和問題

問 高市政権は数を頼みに、日米同盟のさらなる強化を表明し、戦争への道を進もうとしている。特に許せないのは憲法改正のための憲法審査会を設置する動きが始まっている。「唯一の被爆国である日本」は戦争をなくすよう世界に働きかけることが重要と思うが、市長の見解を伺う。

答 1945年から今日までの81年間、他国を攻めたことも攻められたこともない平和な日本がつくられてきた。飯山市の非核平和宣言には、非核3原則遵守の記述があり大事にしていかなければと思っている。

◆上下水道のインフラ整備

問 飯山市の下水道が整備されてから20数年が経過している。全国で道路の陥没事故などが報告されているが、飯山市の現状と修繕計画について伺う。

答 2024年3月に改定した飯山市水道事業経営戦略を基本方針とし、施設の重要度・優先度を考慮した更新基準年数の設定を行い、更新等をしていく計画となっている。

部活動の地域展開・指定ごみ袋について

問 福島県の磐越道で、新潟市の高校の部活動の移動中に生徒一人が死亡、多数の生徒が負傷したバス事故が起きた。部活動の地域展開を進めている中で市の見解は。

答 大変痛ましい出来事であると認識している。当市においても中学校部活動の地域展開を進める以前から、部活動の遠征について公共交通機関の利用が難しい場合にバスによる移動が行われている。教育委員会では各学校に注意を呼びかけ、各学校では危機管理マニュアルを点検し、生徒の安全が確保されるよう安全管理の徹底に努めている。

問 市内のごみ袋の在庫状況について、市ではどのように把握しているのか。

答 指定ごみ袋を取り扱う店舗については販売店登録をしておいていただいている。職員が店舗に赴いて店頭の状態を把握をしている。

問 市として供給量は十分であるか。

答 原料は不足しておらず例年以上のペースで生産している。製造業者からは聞いている。

一般質問

統合小学校 観光振興 孤独・孤立支援

問 現計画では城南中学校区の統合小学校については、おおむね令和12年4月の開校を目標として検討を進めると記載があるが、現在の検討状況は。

答 昨年度の総合教育会議では、城北小学校統合後の効果検証や適正規模に関する研究状況などを市民の皆さまにお示しし、ご意見を伺いながら慎重に計画を進める方針を確認した。

問 地域や保護者から見ると検討状況が見えにくい。

答 今年度中に保護者や地域の皆さんとの意見交換の場を設けたいと考えている。

問 首都圏向けの観光の情報発信や誘致活動をさらに強化する考えはあるか。

答 市内の旅行者に委託し、その委託業者が旅行会社を訪問して団体旅行の営業や市の補助メニューなどを紹介する事業を6月から開始した。

問 孤立・孤独対策には、官と民をつなぐコーディネート民の存在が重要であると考ええるがいかがか。

答 その役割を担う人材の確保に向け、研究していく必要があると考えている。

飯山市水道事業経営戦略とジャンプ台について

問 飯山市水道事業経営戦略では令和元年から40年間で総額100億円をかけて重要管路の93%の耐震化をする計画だが、残りの埋設管延長287%の耐震化計画は。

答 人口減少による水需要の低下や施設の老朽化が進む中、全ての管を更新することは困難であり、将来的にはスモールタウン等インフラ施設の統廃合も検討する必要があると考えている。

問 耐震化を含め上下水道事業を維持するには、数百億円単位での莫大な維持費用がかかる。将来に向けての上下水道事業の運営計画は。

答 まずは耐震性のない39%の配水管を最優先で更新する。その他の管路についても更新の研究は必要と考えており、他自治体の状況も参考にして、今後の計画更新について検討する。

問 3月定例会で、ノーマルヒルサマー化の約4億円強の予算が否決された。今後の市長の考えを伺う。

答 現時点で予算編成等具体的なことについて動き始めることはない。

情報公開の考え方について

問 城北小学校開校後にトイレで便器が焦げるという事態が発生したと聞いた。このことは事実か。

答 本年1月に城北小学校の児童用トイレの個室の洋式便座が焦げた案件と思われる。火災報知機の作動等は無く消防への通報にも至らなかった。

問 このことに対し、教育委員会と学校はどのように対応したのか。そしてなぜ公表しなかったか。

答 保護者にはメール配信により事案の説明と児童の不安への配慮等の連絡を行った。この事案には児童が関係している可能性も否定できないことから不用意に犯人探しに繋がらないよう、教育的配慮から、教育委員会として市長へ報告するにとどめた。

問 市の建物の中で起きた不祥事であるため、教育的配慮は行いながら、議会や市民の皆さんに報告すべきであったと思うが市長の考えは。

答 教育長の答弁したことを私は理解して、それで結構だというふう判断した。

第3次教育大綱 飯山市の農業について

◆第三次教育大綱について

問 私は識者から「現在の教育は150年間基本的に同じ路線で進んでいる。多様化社会の今、不登校生徒が増加するのは当然で、今の時代にマッチした教育システムが必要」と言われたことがある。教育長の考えをお聞きする。

答 長野県教育委員会が進めるウェルビーイング実践校の考え方は、まさに学校の仕組みを変えていくというもの。子どもたちを真ん中にした学校づくりに取り組んでいきたい。

◆飯山市の農業について

問 中山間地農業は高齢化した住民により支えられている。市の農地維持の考えを伺う。

答 新規就農者の育成、基盤整備や農地の集約化、遊休荒廃農地対策などを総合的に推進していく。

問 農家がなくなれば祖先からの郷土の原風景、文化もなくなる。農業の未来の構想は。

答 地域に人が定着し、地域コミュニティが存続できる仕組みをどのように構築していくかが大きな課題の一つと認識している。

洪水時避難・保育行政・長野県市長会について

問 指定避難所の収容人数は浸水想定区域内人口の4人に1人のみ。ある集落の住民アンケートでは約6割が指定避難所への避難を希望している。この実情を市民に周知すべきでは。

答 マイタイムラインの作成を機に最適な避難先を各自で考えていただきたい。収容人数の定員超過時でも受け入れは拒否しないことも併せて周知していく。

問 「飯山市の保育環境に関する報告書」を踏まえ10年・20年先を見据えた保育の将来像を示すべきでは。

答 課題に向き合い、子どもを真ん中に置いた最良の保育環境を考え、子育て施策に取り組む。

問 県市長会は重要な会議である。3月定例会において市長会で給食費無償化について発言すると答弁したが、なぜ市長会を欠席され、給食費無償化の発言をしなかったのか。

答 観光関係の総会を優先した。また県市長会の令和9年度の国への要望で、中学校の学校給食の無償化について要望する旨を確認している。